

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	業務上疾病に関する医学的知見の収集		<b>担当部局庁</b>	労働基準局労災補償部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度～平成24年度		<b>担当課室</b>	補償課		若生 正之		
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計労災勘定		<b>政策・施策名</b>	Ⅲ 3 2 被災労働者等の社会復帰・援護等を図ること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	労働者災害補償保険法第29条第1項第2号		<b>関係する計画、通知等</b>	業務上疾病に関する医学的知見の収集事業に係る委託要綱				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>労災請求事業の業務上外の判断や、認定基準等の策定・改正の検討に当たっては、最新の医学的知見を踏まえ、疾病の発生と業務との関係を明らかにすることが不可欠であるため、国内外の医学文献を収集することを目的とする。</p>							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>放射線被ばくによる疾病について、国内外の医学文献を収集、医学専門家により構成する医学文献検討委員会(以下「検討委員会」という。)においてレビュー対象とすべき医学文献を決定し、レビューを作成する。レビュー結果を報告書に取りまとめ、レビュー対象とした文献のサマリー及び収集した文献の原文とともに提出する。</p> <p>※ なお、平成25年度からは、「保険給付業務に必要な経費」に予算計上している。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	16	16	16			
		繰越し等						
		計	16	16	16			
	執行額	7	12	16				
	執行率(%)	43.8%	75.0%	98.4%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医学的知見の収集を適切に行い、報告書を取りまとめ、迅速・適正な労災認定に資する基礎資料を得る。		成果実績		—	有用な基礎資料を得た	有用な基礎資料を得た	
			達成度	%	—	100%	100%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	収集文献 1,200文献(24年度) (最低500文献)		活動実績 (当初見込み)		1,518 ( 1,500 )	3,142 ( 1,500 )	613 ( 1,200 )	— ( — )
<b>単位当たりコスト</b>	25,693円 (1文献当たり)		算出根拠	15,750,000(決算額)÷613(収集文献数)=25,693(円)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	業務上疾病の労災認定に当たっては、迅速・適正な処理が求められているところであり、その判断は、最新の医学的知見を踏まえて行う必要があることから、本事業は必要性が高く、国費の投入による安定的な運営が必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が実施している労災保険給付を行うための基礎資料を得ることを目的としており、国が実施すべき事業であった。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	業務上疾病の労災認定に当たっては、迅速・適正な処理が求められているところであるが、その判断は、最新の医学的知見を踏まえて行う必要があることから、本事業は必要性・優先度の高いものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価落札方式)により委託先を選定することとした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業は被災労働者の援護を図るものであり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、被災労働者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価落札方式)により委託先を選定しており、単位当たりのコストの削減に努めた。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	文献収集・検討会運営経費等に必要経費のみである。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	専門的能力を有する委託先を選定し、活動実績も踏まえ、実効性を確保している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	最低収集数を上回る数の文献を収集した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	労働基準法施行規則の改正に係る検討等に活用している。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>労災請求事業の業務上外の判断や、認定基準等の策定・改正の検討に当たっては、最新の医学的知見を踏まえ、疾病の発生と業務との関係を明らかにすることが不可欠であるため、本事業を実施した。</p> <p>一般競争入札(総合評価落札方式)により、専門的能力を有する委託先を企画内容及び費用の面から適切に選定することができ、また、医学的知見の収集を適切に実施し、迅速・適正な労災認定のための基礎資料を得ることができた。</p> <p>なお、本事業は平成25年度要求から「保険給付業務に必要な経費」に予算計上している。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
—					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	660-24	平成23年	1000	平成24年	0842

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
15.8百万円(平成24年度執行額)

事業管理、受託者への指導



【一般競争入札(総合評価落札方式)】

A. 株式会社 三菱総合研究所  
15.8百万円

医学文献の収集、検討委員会で  
レビュー対象の検討・決定、レ  
ビュー作成。  
その後、レビュー結果を報告書と  
して取りまとめ、レビューに使用し  
た文献のサマリー及び収集した文  
献の原文とともに提出。

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.株式会社 三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	医学文献収集経費、医学文献検討会運営 費等	15.8			
計		15.8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	化学物質等による疾病及び受動喫煙による疾病について、国内外の医学文献を収集、検討委員会においてレビュー対象とすべき医学文献を決定し、レビューを作成する。レビュー結果を報告書に取りまとめ、レビュー対象とした文献のサマリー及び収集した文献の原文とともに提出する。	15.8	2	75%